第１号議案　令和７年度事業報告に関する件

１．「一般社団法人」としての社会貢献と会員ステータスの向上に関する事業

日種協本部及び協力団体（ブロック会、支部）との連携による地域活動等の活性化を図ることとし、食育活動の実施による健全な食生活の普及、持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）に対応した活動も含めて社会貢献を一層強化した。

特に、「食育推進プロジェクト」では令和７年度に全国の小学校等約１３０校で、延べ約１１，０００名の児童の参加を得て、実施小学校、教育委員会等から高い評価を得ることができた。

また、昨年に続いて４月１０日の「タネの日」キャンペーンを実施し、ポスター、シール等の配布を行い会員に活用を促した。

２．園芸種子等の生産、流通の改善等に関する調査、研究に係る事業

野菜種子、花き・栄養繁殖性植物、芝・牧草、苗、資材及び国際の各専門部会において、それぞれ調査研究と情報の交換並びに技術、制度等の改善向上を図り、園芸種子等の生産、流通の改善を図った。

共通的または専門的事項については、会員、政策、法務、広報、技術研究、経営・流通、倫理・コンプライアンス及び植物防疫の各委員会において、部会からの諮問等に対し調査、研究を行い、法律専門家の助言も受けつつ問題の解決を図った。

３．種苗管理士（シードアドバイザー）の資質向上に係る講習、講演会の開催に関する事業

会員種苗店等の資質及び技術力向上を図るため、改正種苗法などの関係法令の周知並びに園芸種苗等の生産管理、流通の改善等に関する講習、講演会を東京都支部、栃木県支部及び千葉県支部において合計３回開催した。引き続き、全国約２，８００名に達する種苗管理士の有資格者を通じて、農業者、一般消費者等への園芸種苗に関するサービス向上、普及啓発を推進した。

４．優良な園芸種苗等の開発普及の促進に関する事業

大臣賞が授与される「全日本品種審査会」（令和７年度：野菜６品目７回、花き７品目１１回）等を通じ、新たに開発された優良品種、並びに種苗法に基づく新規登録品種について広く公表し、優良品種の開発普及を促進した。

併せて、農業や食品産業の成長産業化を進める農水省の方針に沿い、加工業務用野菜品種等の開発、普及を推進するとともに、花き振興法の目的に沿った花き産業の振興に努めた。

また、横浜で開催予定の国際園芸博覧会（ＧＲＥＥＮ×ＥＸＰＯ２０２７）に対して、協会として設置した「出展検討チーム」を６回開催して出展内容の検討を進めた。

５．民間育種に関する権利の保護を通じて民間育種を助長する事業

種苗法による新品種の権利保護制度の普及、充実に協力するとともに、官民連携して知的財産権の保護に係る民間フォーラム等への積極的参加や、広報活動の強化を通じて、民間育種の助長に努めた。

特に、農研機構を中心とする育成者権管理機関の設立に向けて発足した育成者権管理機関支援事業実施協議会の一員として、海外への品種登録出願、国内外における侵害対応、各国の関連法令や商慣習等の調査などの事業実施に向けた検討に協力した。

６．国立研究開発法人農研機構が育成した種苗の配布協力に関する事業

農研機構で育成された園芸種苗等について、農研機構の知的財産センターとも協力しつつ利用許諾を行い、新品種の普及を促進した。令和７年度には、旧野菜茶業研究所及び旧花き研究所が育成した７品種について利用許諾に協力した。

また、農研機構及び農水省の遺伝資源の収集、特性調査、増殖に協力することにより、有用な育種素材の会員への配布による新品種の育成を図った。

７．品種名称の整理、重複防止等に関する事業

野菜の品種名称について、品種名の重複防止を図り、一般利用者に対して業界の信用を高めるため、協会の独自事業として野菜品種名登録に基づく品種名登録審査を６回実施した。

また、協会ホームページの会員コンテンツにおいて野菜品種名鑑デジタル版を適切に運用した。

８．園芸種苗等のリスク管理に関する事業

農水省の関係部局と情報交換しつつ、園芸種苗に関するＧＭ品種混入問題への対応、ＩＳＰＭ３８(種子の国際移動に関する国際基準)の実施、改正植物防疫法に基づく登録検査機関による輸出検査の実施等の問題に的確に対応した。特に、改正植物防疫法に対応して種子伝染性病害に関する輸出検査が実施可能な登録検査機関の登録状況や、輸入検査でのモニタリング検査の実施等について会員への周知に務めたほか、農水省に対して種子処理農薬の登録維持・拡大に関する要望を行い、農薬メーカーとの協議を開始した。

また、農水省をはじめ関係省庁と連携してゲノム編集等の新育種技術（ＰＢＩ）に関する情報を収集・整理するとともに、他の民間団体、大学等の関係者とともに、メディアのほか流通業者、消費者等を広く対象としたコミュニケーション活動に参画した。

９．国際種子機構等との連携に関する事業

ＩＳＦ（国際種子連盟）（ＩＳＨＩ（国際健全種子推進機構）を含む)、ＡＰＳＡ（アジア・太平洋種子協会）等との連携を強化しつつ、園芸種苗等の国際交流の活性化を図った。

・ＩＳＦイスタンブール大会（令和７年５月１９～２１日）に参加

・ＡＰＳＡ植物品種保護・生物多様性地域協議会の東京開催に協力・参加

・ＡＰＳＡムンバイ大会（令和７年１１月１７～２１日）に参加

また、ジーンバンクの活用により海外の優良な園芸植物の遺伝資源の導入を図るとともに、ＣＢＤ（生物多様性条約）やＩＴＰＧＲＦＡ（食料・農業植物遺伝資源条約）でのデジタル配列情報（ＤＳＩ）に対するアクセスと利益配分の議論に対応した。

１０．会報「種苗界」及びホームページの拡充並びにメールサービスによる広報の拡充に関する事業

園芸種苗等に関する各種情報の交換と広報活動を密にするため、会報「種苗界」誌のフルカラー化の継続、本会のホームページのコンテンツの充実を図った。また、ホームページと連携したニュースメール発信（７年度中１０４通）により広報体制の充実に努めた。

以上

「事項別事業報告」

事項別 開催等年月日	会場等	摘要
定時総会		
7. 6.26	新潟・ホテル日航新潟	第５２回定時総会
		1. 令和６年度事業報告　2. 令和６年度収支決算報告
		3. 本会の運営について
理事会		
7. 4.23	東京・上野精養軒	第１回理事会
		1. 令和６年度事業報告　2. 令和６年度収支決算報告
		3. 本会の運営について　4. 新規加入会員の承認
		講演会
10.21	東京・上野精養軒	第２回理事会
		1. 本会の運営について　2. 新規加入会員の承認
		講演会
8. 3. 4	書面審議	第３回理事会
		1. 令和８年度事業計画　2. 令和８年度収支予算
監事監査	東京・日種協	
7. 4. 8		令和６年度事業報告及び収支決算について
常務役員会		
7. 4.23	東京・上野精養軒	1. 理事会提出議案について　2. その他
6.26	新潟・ホテル日航新潟	1. 定時総会提出議案について　2. その他
10.21	東京・上野精養軒	1. 理事会提出議案について　2. その他
8. 1.19	書面審議	1. 役員選考委員会の構成について
野菜種子部会		(審査会は技術研究委員会との共管)
7. 3.21	(文書)	群馬県キャベツ栽培委託事業（７年度分）の参加募集（参加８社）
6.23	長野県野菜花き試験場	レタス審査（出品８点）
6.25	新潟・ホテル日航新潟	1. 品種名年間大賞表彰式　2. 野菜種子作柄報告
		2. 講演会
		部会合同講演会
6.26	新潟・ホテル日航新潟	第７５回全日本野菜品種審査会授賞式
8.28	長野県野菜花き試験場	タマネギ審査（出品１３点）
10. 3	長野県野菜花き試験場	ブロッコリー審査（出品２３点）
10.20	東京・上野精養軒	オンライン併用
		1. 情報提供　2. 講演会
		部会合同講演会
11.17	神奈川県農業技術センター	コカブ審査（出品１０点）
11.27	千葉県農林総合研究センター東総野菜研究室	ネギ審査（出品２３点）

事項別 開催等年月日	会場等	摘要
野菜種子部会		
7.12. 5	鳥取県園芸試験場	ブロッコリー審査（出品２３点）
12.25	宮崎県総合農業試験場 畑作園芸支場	ホウレンソウ審査（出品１８点）
8. 3.18	オンライン開催	全日本野菜品種審査会　特別賞選考委員会
花き・栄養繁殖性植物部会		
7. 4.15	姫路市農業振興センター	ペチュニア審査（出品１２点）
4.17	東京・日種協	2027国際園芸博覧会出展検討チーム会議 1. 日種協展示内容の検討　2. その他
6. 4	東京・日種協	花き専門委員会 1. 令和８年全日本花弁品種審査会の実施計画 2. 全日本花弁品種審査会の実施方針　3. 農研機構との意見交換
6.25	新潟・ホテル日航新潟	1. 全日本花弁品種審査会について　2. 展覧会等への対応について 部会合同講演会
6.26	新潟・ホテル日航新潟	第７０回全日本花弁品種審査会授賞式
7.17	栃木県農業試験場	ジニア審査（出品１２点）
7.29	東京・日種協	2027国際園芸博覧会出展検討チーム会議 1. 日種協展示内容の検討　2. その他
7.31	長野県野菜花き試験場	ユーストマ審査（出品２２点）
9. 4	岐阜県中山間農業研究所	ユーストマ審査（出品２２点）
9.19	東京・日種協	2027国際園芸博覧会出展検討チーム会議 1. 日種協展示内容の方向性の確認　2. 施工業者による展示プラン案の説明 3. その他
11.11	神奈川県農業技術センター	パンジー・ビオラ審査（出品２０点）
11.14	熊本県農業研究センター 農産園芸研究所	ユーストマ審査（出品２２点）
11.18	静岡県農林技術研究所 伊豆農業研究センター	キンギョソウ審査（出品１１点）
12. 3	東京・日種協	オンライン併用 1. 外部イベントに関する取り組みの報告 2. 令和７年全日本花弁品種審査会実施経過報告 3. 各社状況報告 講演会
12. 9	東京・日種協	2027国際園芸博覧会出展検討チーム会議 1. 日種協展示内容の調整について　2. 展示計画書の準備について
12.16	群馬県農業技術センター	パンジー・ビオラ審査（出品２０点）
12.19	石川県農林総合研究センター	ハボタン審査（出品１４点）
8. 2. 4	高知県農業技術センター	ユーストマ審査（出品２３点）
2.13	和歌山県農業試験場 暖地園芸センター	スターチス審査（出品１４点）

事項別 開催等年月日	会場等	摘要
花き・栄養繁殖性植物部会		
8. 2.27	オンライン開催	全日本花弁品種審査会　特別賞選考委員会
3.26	東京・日種協	2027国際園芸博覧会出展検討チーム会議 1. 展示内容の調整について　2. 展示準備の打合せについて
資材部会		
7. 5.13～14	大阪府下	視察研修会
国際部会		
7. 4.10	東京・日種協	タイ種子貿易協会訪日団との交流
6.26	新潟・ホテル日航新潟	1. ＡＰＳＡ中国・三亜大会について 2. ＩＳＦトルコ・イスタンブール大会について
8.26～28	東京・マリオットホテル	ＡＰＳＡ植物品種保護・生物多様性地域協議会参加交流
生物多様性小委員会		
7.11.11	東京・日種協	オンライン併用 ＩＴＰＧＲＦＡ 第１１回理事会に向けた意見交換
12.22	東京・日種協	オンライン併用 ＩＴＰＧＲＦＡ 第１１回理事会報告会
会員委員会 食育推進小委員会		
7. 3. 7	（文書）	農林水産省後援名義の承認（令和７年度分）
6.26	新潟・ホテル日航新潟	1. シードアドバイザーについて　2. その他
10.21	東京・上野精養軒	別功労賞表彰
8. 3.10	（文書）	農林水産省後援名義の承認申請（令和８年度分）
会員委員会 種苗管理士講習会		
7. 6.10	東京・日種協	東京都支部　種苗管理士講習会　種苗管理士認定試験
11.26	栃木・宇都宮商業団地協業組合	栃木県支部　種苗管理士講習会　種苗管理士認定試験
8. 2.10	千葉・ホテルプラザ菜の花	千葉県支部　種苗管理士講習会　種苗管理士認定試験
政策委員会		
7. 4.16	東京・日種協	オンライン併用 令和６年度ＤＮＡ品種識別マーカー作成事業報告会
7.23	東京・日種協	オンライン併用 1. ジーンバンク特性調査、増殖小委員会報告 2. 野菜種子の生産適地予測プログラム開発について 3. 種苗政策をめぐる動向について

事項別 開催等年月日	会場等	摘要
政策委員会 7.10.30	（文書）	GMセイヨウナタネとブラシカ属野菜との交雑実態調査（２次検査）
法務委員会 8. 3.23	東京・日種協	幹部会　オンライン併用 種苗法改正法案及びＵＰＯＶ収穫物ＷＧ報告書への対応について
法務委員会 品種名分科会 7. 4. 1 6. 3 8. 4 10. 1 12. 2 8. 2.12	書面審議 書面審議 書面審議 書面審議 書面審議 東京・日種協	登録申込品種名　29件審議　26件登録　（第250回） 登録申込品種名　21件審議　21件登録　（第251回） 登録申込品種名　13件審議　13件登録　（第252回） 登録申込品種名　24件審議　22件登録　（第253回） 登録申込品種名　15件審議　12件登録　（第254回） 全体会議 登録申込品種名　55件審議　51件登録内定　（第255回）
広報委員会 7. 6.11 9. 4 12.10 8. 3.27	東京・日種協 奈良・㈱大和農園 東京・日種協 東京・日種協	1. 種苗界の編集について　2. ホームページについて 3. 消費拡大キャンペーンについて　4. 提案事項 1. 種苗界の編集について　2. ホームページについて 3. 消費拡大キャンペーンについて　4. ＧＰＥＣ２０２６への出展について 1. 種苗界の編集について　2. ホームページについて 3. 消費拡大キャンペーンについて 1. 種苗界の編集について　2. ホームページについて 3. 消費拡大キャンペーンについて　4. 提案事項
技術研究委員会 7. 4.24 10.16～17 10.17	東京・日種協 三重・津リージョンプラザ 三重・津リージョンプラザ	（審査会は野菜種子部会との共管） オンライン併用 1. 令和８年全日本野菜品種審査会の実施計画検討 2. 令和７年度課題別研究会の準備について 3. 今後の審査会実施方針　4. 固定種・在来種の定義について 令和７年度課題別研究会「ネギ・タマネギの育種・生産を取り巻く現状と今後の課題」 1. 令和８年度課題別研究会のテーマ・演題検討 2. 令和７年野菜品種審査会の実施経過報告 3. 令和８年野菜品種審査会実施計画の確認
植物防疫委員会 7. 4. 1	東京・日種協	オンライン併用 1. 種子のシステムズアプローチについて 2. ＩＳＦにおける植物防疫関係の検討状況について

事項別 開催等年月日	会場等	摘要
植物防疫委員会		
7. 6.16～20	北海道・札幌パークホテル	ＩＳＨＩ－Ｖｅｇ日本会議
8. 4	東京・日種協	オンライン併用 1. ＤＮＡチップを用いた種子病理検査法について 2. 植物防疫に関する最近の動き
10. 1	東京・日種協	オンライン併用 ＩＳＨＩ－Ｖｅｇ札幌会議報告会
10.30	東京・日種協	オンライン併用 種子処理農薬の登録維持・拡大に関する活動について
12.18	東京・クロップライフジャパン	オンライン併用 種子処理農薬の登録維持・拡大に向けた情報交換会参加
8. 1.14	東京・日種協	オンライン併用 種子処理農薬の登録維持・拡大に向けた説明会
病害対策小委員会		
8. 1.23	東京・日種協	幹部会　オンライン併用 コルテバアグリサイエンスとの意見交換
2.27	東京・晴海トリトンスクエア	幹部会 シンジェンタジャパンとの意見交換
2.27	東京・日本橋	幹部会 大内新興化学工業との意見交換
3. 6	東京・池之端	幹部会　オンライン併用 クミアイ化学工業との意見交換
3.13	大阪・江戸堀	幹部会　オンライン併用 石原産業との意見交換
3.18	東京・丸の内JPタワー	幹部会　オンライン併用 日本曹達との意見交換
新育種技術小委員会		
8. 2.25	東京・日種協	オンライン併用 ゲノム編集勉強会
ＩＳＦ		
7. 5.19～21	トルコ・イスタンブール	ＩＳＦイスタンブール大会
11. 3～ 7	ベルギー・ブリュッセル	ＩＳＦミッドタームミーティング
8. 3. 5～ 6	インドネシア・ジャカルタ	ＩＳＦ理事会
ＡＰＳＡ		
7. 6. 3～6	インドネシア・ジャカルタ	ＡＰＳＡ各国種苗協会会議
11.17～21	インド・ムンバイ	ＡＰＳＡムンバイ